

第三者証明書サービスに関する最新動向



株式会社アイ・エス・レーティング

2015年2月10日

鈴木 茂幸

当資料に記載の内容は予告なく変更することが御座いますので、予めご了承願います。

第三者証明書発行サービスとは

- 企業が様々な製品やサービスを提供するにあたり、消費者や取引先から提供上のプロセスの正当性や適切性等について説明を求められることがあります。その場合、内部調査、内部監査等により応えることもできますが、外部から見たときには利害関係上同一であると見なされてしまうことがあります、必ずしもベストの方法とは言えません。
- アイ・エス・レーティングでは、「第三者証明書発行サービス」を提供しています。
- 利害関係のない中立な第三者の評価機関として、専門的かつ客観的な立場から、プロセスの内容や質、事業者の経営や企業統治の状況を確認し、その正当性・適切性について証明書を発行することができます。
- 貴社と貴社の製品やサービスの信頼性の向上を「第三者証明書発行サービス」によりご支援致します。

第三者証明は、取引先に対し正当性・適切性の証明を行うことだけでなく、製品、サービスおよび会社の品質への取り組みをアピールすることや内部に対して対策の実施状況をアピールすることに活用することができます。

外部に対する活用

- 第三者証明により、同種製品・サービスに差別化を図ることができます。
- 第三者証明書を公表して、ステークホルダーに安全性や品質に対する積極的な取り組みをアピールすると、販路拡大等の機会が増える。
 - ・取引先にアピールできる(BtoB)
 - ・個人利用者にアピールできる(BtoC)

内部に対する活用

- 第三者証明により、経営者や現場責任者が自社製品・サービスに係る品質や安全対策を客観的な視点で再点検する。
- 第三者証明書を公表するに至らない場合でも、改善点の提示により、製品・サービスの品質向上に向けた課題を浮き彫りにし、改善へと繋がる。

事実の説明、無実の説明、対策実施の説明を、外部の専門家が確認することをアピールすることで、当事者では解決できない説明責任を果たすことができます。

○アイ・エス・レーティングでは、「情報セキュリティ格付けサービス」・「第三者証明書発行サービス」を提供しています。

利害関係のない中立な第三者の評価機関として、専門的かつ客観的な立場から、プロセスの内容や質、事業者の経営や企業統治の状況を確認し、その正当性・適切性について証明書を発行することが可能です。

アイ・エス・レーティングは、第三者による客観的な評価を行う機関として、次のようなメリットを保持しています。

■公正、中立の格付機関

格付機関として設立されているため、株主が格付審査に影響力を行使できないように1社・1企業グループの出資比率を20%以下に抑えるなど、公正性、中立性が高い機関。

■格付機関としてのノウハウ

格付機関として、様々な格付を実施してきた中で、製品やサービスの提供プロセスの正当性・適切性を判断するノウハウが確立。

■お客様の目的にあわせて証明項目をカスタマイズ

お客様の業種、取引先等の事情により、第三者証明したい内容が異なることに対応し、事前に打ち合わせにより、証明項目をカスタマイズ。

委託先監査に対応

- ◆(多数の委託先点検について)社員の負担軽減
- ◆自社基準に加えて、外部の客観的評価がポイント
⇒検査時に第三者評価による客観的なデータを提示することで説明責任を果たせる
- ◆マネジメント成熟度&対策強度の観点と、重要情報資産の管理状況について、業務フローの観点と評価がポイント
⇒現場の管理状況(実態)を正確に評価
- ◆対策水準(強度&成熟度)や経年変化の見える化、他委託先との比較
- ◆実地点検のクオリティ向上(より実査・現地確認項目を充実)
⇒専門家による審査により、情報管理点検の形骸化防止
⇒監視、追跡できる態勢を確認

例えば、外部委託先における①顧客データの所在の特定状況、②顧客データの使用状況、③顧客データの不正使用の監視態勢、④情報漏えい等が発生した場合の追跡態勢等を、検証できる態勢を確認
- ◆委託先において、外部審査による情報管理意識・セキュリティ水準の向上
⇒委託先の意識向上と取組みの強化

金融機関(法規制あり)だけではなく、経産省の個人情報保護ガイドラインでも委託先監査を委託元の責任として義務付けている。

リスク点検への対応

◆現実的な話として、一部の委託先は委託元が直接立入って検査することを、他のお客様情報に触れる可能性があるとの理由で、完全な形では受け入れ難い可能性がある

⇒直接ビジネスとの利害関係がない格付会社が立入検査を実施することで、金融庁が求めている「外部委託先における業務の実施状況を定期的又は必要に応じてモニタリングする等、外部委託先において顧客等に関する情報管理が適切に行われていることを確認」を達成可能となる

◆委託先からの意見として、「毎年、数十社(多いところでは百社以上)より、様式及び確認の観点が異なるチェックリストへの回答、及び現地審査への対応を行っており、毎日のように監査対応を行っている。各委託元からのチェックリストを標準化(共通化)して欲しい、との意見について解決策になる

⇒各委託元(金融機関)は共通のガイドライン等を踏まえてチェックリストを作成しているはずである。共通化することで負担を軽減することについて検討の余地はある弊社が展開する情報セキュリティのレベルに関する共通の評価プラットフォーム(n対nの解消)が広がると委託元及び委託先(監督当局を含め)の業務効率化が図れる

◆委託先監査スキル、委託先管理コスト削減

⇒システムのスキルがないので、監査出来ない。コスト効果を目的に、外部に委託したのに監査にコストがかかってしまうは意味がない

■自社のリスク点検とステークホルダーへの説明責任は？

決められ手順で正しく実施している

システム障害対策は

情報漏洩対策は

コンテンジエンシープランの実効性は

■委託先のモニタリングは？説明責任は？

契約通りに実施している

障害発生時の対応は

情報漏洩対策は

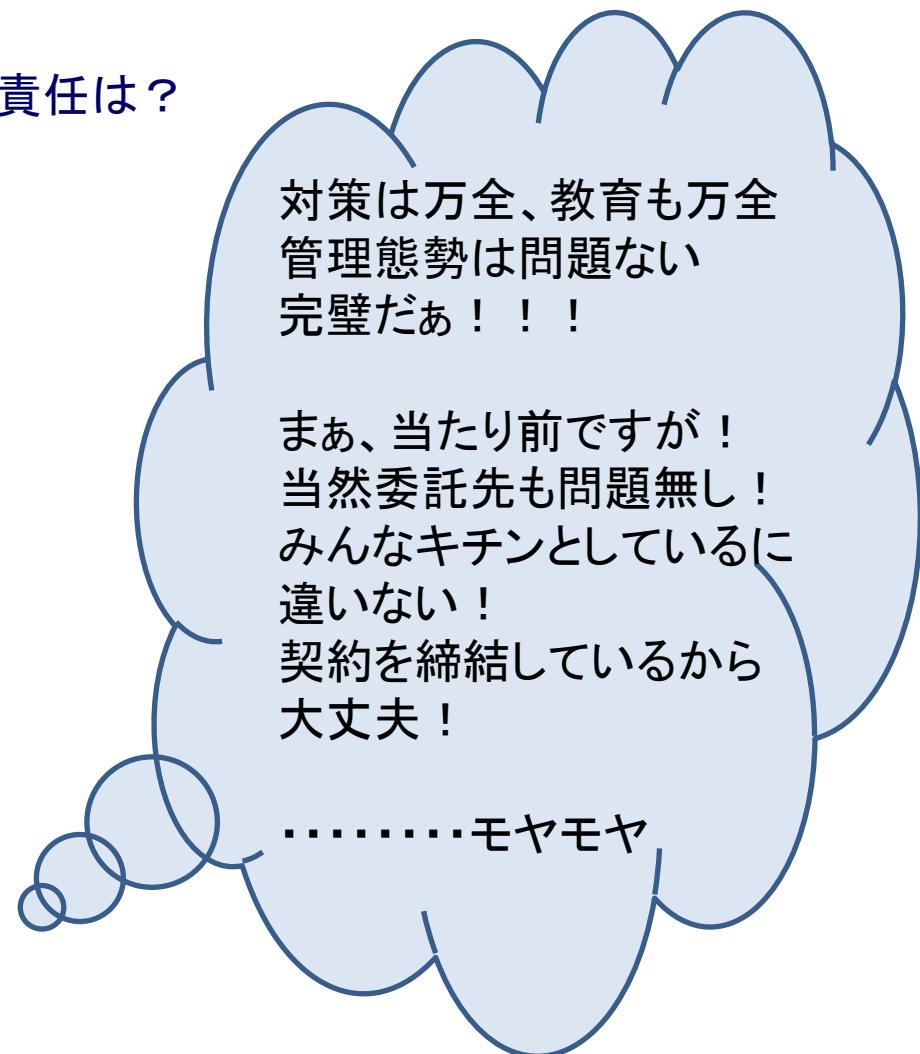
コンテンジエンシープランの実効性は

■ヒト・プロセス・テクノロジー？

ヒト…リテラシー向上・教育

プロセス…手順・ルール

テクノロジー…金属探知機などの活用



第三者による客観的な評価

■性善説限界(人は弱い…性弱説)

⇒きちんとビジネスをしている企業が報われない

やって当たり前ではなく、きちんとやっていることを示す

我社は、他とは違う！

我社は、信頼をモットーにビジネスをしている！

他社と一緒にされでは、迷惑だ！

まじめに、きちんとしっかりとやっている企業を支援

⇒第三者による客観的な評価

- ・きちんと実施していることをアピール
- ・他社との差別化
- ・納得感のある説明

■第三者による客観的な評価

⇒第三者証明書発行サービス・情報セキュリティ格付け

■第三者証明をビジネスツールとして活用

⇒自社の優位性を証明

⇒自社の安心を証明

- ・委託先からの積極的なアプローチ
- ・きちんと実施していることをアピール
- ・監査の実効性アップと効率化

■第三者による客観的な評価による効果

・マーケット拡大

・効果的に短時間で説明が可能

・自社・委託先・再委託先も含めたリスクマネジメント

外部委託先も含めた管理態勢・ガバナンスの確立、維持

・セキュリティ実施強度／事実・対策の証明、監査の実効性向上

・社会的なコスト削減

- ・説明責任
- ・事実の説明
- ・対策の説明
- ・無実の説明

第三者証明書発行サービス事例(他社との差別化) S Rating

株式会社アイ・エス・レーティングは、株式会社クマヒラ・株式会社熊平製作所の『20年セキュリティのお約束』の実施状況に関する調査を実施致しました。

株式会社クマヒラ・株式会社熊平製作所は、セキュリティ製品の互換性を20年間に亘り維持することでお客様の利便性と投資効率の向上を図る方針です。

今後20年間に亘り互換性のある製品を機能向上させながら提供するためのマネジメントの状況を、経営方針、組織体制及び業務の運営状況、加えて過去10年間の製品提供の実績等により確認致しました。

■調査概要

企業・団体名 株式会社クマヒラ・株式会社熊平製作所
調査スコープ セキュリティシステムGGシリーズ
調査対象 『20年セキュリティのお約束』
調査事項 『20年セキュリティのお約束』実施状況と過去の実績
リファレンス 『20年セキュリティのお約束』
「10年以上の間、互換性を維持した製品の開発・改良を継続してきたクマヒラが、これからも互換性のある製品提供を20年以上継続することをお約束します」
互換性のある製品提供
新機能の追求
運用サポート体制の充実

調査日 2014年1月15日～2014年1月16日

本書交付日 2014年2月10日

利用期限 本書交付日から1年(※2)

証明IDコード 10000350117P1301

お客様への説明対応・マーケティングツール

- ・第三者による客観的な評価
- ・他社差別化、ソリューション営業への変革

『20年セキュリティのお約束』 第三者証明書
No.2013-1-ISR-302
平成25年2月10日
株式会社アイ・エス・レーティング
四半期セキュリティ

株式会社アイ・エス・レーティングは、株式会社クマヒラ・株式会社熊平製作所の『20年セキュリティのお約束』の実施状況に関する調査を実施致しました。

株式会社クマヒラ・株式会社熊平製作所は、セキュリティ製品の互換性を20年間に亘り維持することでお客様の利便性と投資効率の向上を図る方針です。

今後20年間に亘り互換性のある製品を機能向上させながら提供するためのマネジメントの状況を、経営方針、組織体制及び業務の運営状況、加えて過去10年間の製品提供の実績等により確認致しました。

本書において、以下に掲載した事案が事実であることを第三者として証明します。

1. 調査概要

企業・団体名 株式会社クマヒラ・株式会社熊平製作所
調査スコープ セキュリティシステムGGシリーズ
調査対象 『20年セキュリティのお約束』
調査事項 『20年セキュリティのお約束』実施状況と過去の実績(※1)
リファレンス 『20年セキュリティのお約束』
「10年以上の間、互換性を維持した製品の開発・改良を継続してきたクマヒラが、これからも互換性のある製品提供を20年以上継続することをお約束します」
① 互換性のある製品提供
② 新機能の追求
③ 運用サポート体制の充実

調査日 2014年1月15日～2014年1月16日
本書交付日 2014年2月10日
利用期限 本書交付日から1年(※2)
証明IDコード 10000350117P1301

※1 調査の方法は、責任者等へのヒアリング、規程および台帳類の閲覧、開発企画書類の確認、提供製品の互換性の確認、関連設備の視察を用いております。
※2 当証明書は、調査実施日における事象について事実であることを証明するものであり、総合的に当該事象が必ず存在することを保証するものではありません。また、調査対象の仕様変更や社会環境の変化に応じ、緊急時には随時、また平常時には年一回の再調査による点検を推奨しています。

●お問い合わせ先 株式会社アイ・エス・レーティング 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-10-2 第20ビル 8階
TEL: 03-3273-8830 <http://www.rating.com>

第三者証明書は、被調査組織等から入手した情報を依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されていません。また当結果は、被開示者、閲覧者等に対し、参考情報としてご提供されるものです。当社は、第三者証明書に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関する生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、第三者証明書に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利、利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2014 IS Rating All rights reserved.

① 既存システムとの互換性のない製品は提供しない。
② 2001年提供開始の製品の互換性を維持する。
③ 新しい機能を追加、提供する。

●お問い合わせ先 株式会社アイ・エス・レーティング 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-10-2 第20ビル 8階
TEL: 03-3273-8830 <http://www.rating.com>

第三者証明書は、被調査組織等から入手した情報を依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されていません。また当結果は、被開示者、閲覧者等に対し、参考情報としてご提供されるものです。当社は、第三者証明書に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関する生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、第三者証明書に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利、利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2014 IS Rating All rights reserved.

弊社HPからダウ
ンロードできま
す

第三者証明書

理念の基に、以下の事業して安定した成長を遂

ても即座にお客様に出

提案型営業の強化、レジシステムを導入して

の財産や情報を守ると発展している。

生のある製品提供を25。

を10年以上

新しい製品・機能の開

実施及びコールム導入後のお客様のセ

開発とバージョンアップ提供し続けています。

株式会社クマヒラ様カタログ

「20年セキュリティ」のお約束

7年～8年と言われるセキュリティシステムの寿命。

クマヒラの「コーポレート・セキュリティ」は、
パッケージの利点を活かし、「長期継続性」を実現。
20年先まで「最新のセキュリティ」をお約束します。



互換性のある製品提供

電子機器の寿命は7～8年間と言われるなか、クマヒラは独自の開発方針に基づき、
お客様に互換性を維持したセキュリティ製品を20年以上提供していきます。

新機能の追及

お客様のニーズから、新たなセキュリティ機能を加えてきたクマヒラは、これからも
新しい製品・機能の開発を継続し、お客様のセキュリティシステムを最適な状態で
20年以上進化させていきます。

運用サポート体制の充実

長期的な視点に立った「20年セキュリティ」では、運用開始後のサポートでもクオリティが問われます。24時間365日専門オペレーターが的確なサポートを行う
コールセンターや、翌営業日中までに専門エンジニアを派遣可能な全国のサービス
拠点網で、お客様へ安心を提供します。

第三者証明書

クマヒラはセキュリティシステムGGシリーズにおける「20年セキュリティ」の
正当性・適当性について、開発プロセスの内容やサービスの体制および提供
状況に関して第三者評価機関から専門的かつ客観的な検証を受け、「第三者
証明書」を取得しております。

※発行者「株式会社アイ・エス・レーティング」



格付け・第三者証明取得の効果

◆格付けで情報セキュリティの強度をアピールできる。

- ・データセンター、コールセンターなど、重要な情報拠点を選ぶうえでの**決定要因**となる。
- ・商談獲得に貢献するなど、**お客様の価値創造**をサポートする。
(例えば、お客様からの個別の質問に対し、第三者証明書を用いて迅速に回答できる)

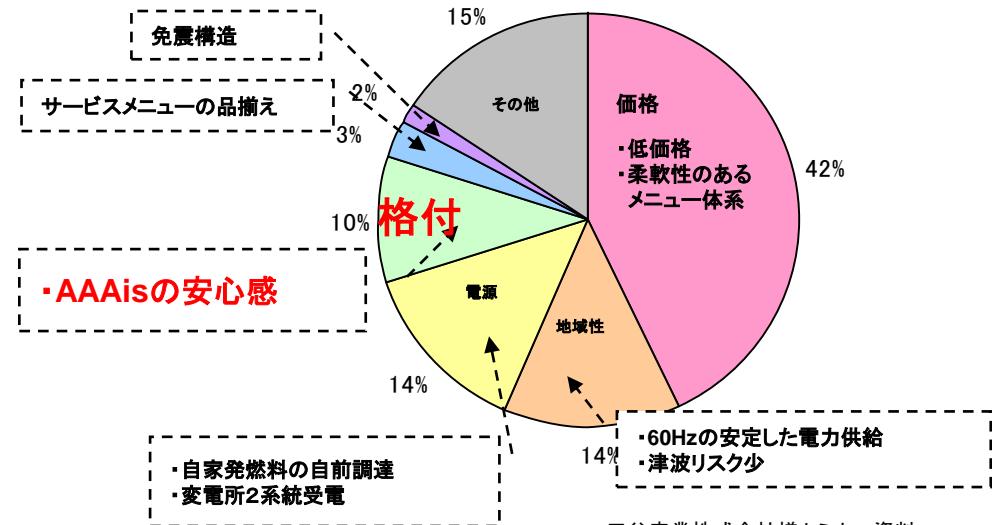
◆格付け・第三者証明で自社の**リスクマネジメント体制**の点検できる。

- ・情報セキュリティレベルの客観的な指標、セキュリティ向上の投資効果測定が可能。
- ・委託先の監査・モニタリングとして活用。

◆セールスツールとして活用できる。

- ・取得内容を弊社ホームページに掲載し、アピールします。
- ・日経BP社(BPnet Mail、ITpro News、ITpro Security)のメールマガジン発信。
約60万件の配信により、取得企業を弊社がアピールします。
- ・取得企業のトップインタビューを弊社ホームページに掲載します。

決め手となったポイント(複数回答)



三谷産業株式会社様セミナー資料

◆IT格付通信◆とは

情報セキュリティ格付け結果の公表、第三者証明結果の公表による企業のアピールと
弊社サービスのプロモーションを目的とし、◆IT格付通信◆として発信しています。

■2014年7月11日配信(Bpnet Mail)、7月15日配信(ITpro News)、7月17日配信(ITpro Security)

---PR---

◆IT格付通信 021◆ 詳細 <http://h.nikkeibp.co.jp/h.jsp?no=114920> (I.S.Rating)
■**クマヒラグループ(株式会社クマヒラ・株式会社熊平製作所)**は、GGシリーズ ■
■『20年セキュリティのお約束』の正当性・適正当性について第三者証明書を取得 ■
お客様のコーポレート・セキュリティ実現のための『20年セキュリティのお約束』
を企業方針として発表。株式会社クマヒラ専務取締役中山英敏様インタビュー実施

■2014年9月10日配信(Bpnet Mail)、9月16日配信(ITpro News)、9月18日配信(ITpro Security)

---PR---

◆IT格付通信 022◆ 詳細 <http://h.nikkeibp.co.jp/h.jsp?no=122629> (I.S.Rating)
NRIセキュアテクノロジーズ様クリプト便、情報セキュリティ最高格付け取得維持
☆ クリプト便は、企業間ファイル転送ASP市場で国内シェアNO.1の実績！ ☆
☆「セキュリティ」と「使いやすさ」を両立したセキュアなファイル転送サービス ☆
☆ 情報セキュリティ最高格付け【AAAis】を3年連続維持！ ☆

■2014年11月12日配信(Bpnet Mail)、11月18日配信(ITpro News)、11月20日配信(ITpro Security)

---PR---

◆IT格付通信 024◆ 詳細 <http://h.nikkeibp.co.jp/h.jsp?no=207704> (I.S.Rating)
☆**富士通FIP様**『九州データセンター、情報セキュリティ格付【AA+】』維持
九州で唯一、5年連続で高格付維持！高度な運用ノウハウに基づいたサービスを提供
☆**三谷産業様**『ITサービス継続対策及びファシリティスタンダード状況』と『クラウドサービス提供における情報セキュリティ管理状況』の【第三者証明書】を取得

トップインタビューの実施

「情報セキュリティ格付サービス」ご利用のお客様に、格付け取得後、トップインタビューを実施し、弊社ホームページ(PDF資料としてダウンロード可能)に記載します。合わせて、日経BP社のメールマガジンの配信も実施します。

トップインタビュー 株式会社クマヒラ・株式会社熊平製作所

株式会社クマヒラ
代表取締役社長 角野博司
本社 東京都中央区日本橋本町1-10-3

第三者証明書取得企業の声 <株式会社クマヒラ・株式会社熊平製作所>
製品・サービスの提供方針20年セキュリティのお約束を策定

～第三者評価機関「端末アイ・エス・レーティング」より2014年2月10日付けで第三者証明を取得～

セキュリティ機器の製造販売を行うクマヒラグループは、創業以来16年間、「お客様の価値を守る」という企業理念の下、金属庫をはじめとする堅牢な物理セキュリティ装置を開発・販売しています。1970年代から電子機器を取り入れたセキュリティシステムの販売を開始し、1972年に日本初の防犯カメラを発売。全国の金融機関に納入しています。さらに、セキュリティシステム製品へと領域を拡張し、2001年販売開始の入退室管理システム「GG-1」は納入10,000件を超え、後継機である2011年発売の「GG-2」も順調に納入数を増やしています。

セキュリティシステムの寿命は7年～8年と考えられてきましたが、「GGシリーズ」は10年以上に亘り互換性を保ちながら改良を重ね、同じシステムで長期的な運用を実現しています。お客様のさらなる利便性と投資効率向上を見据え、これからもお客様のより高い品質とサービスを提供し続けていくための方針として『20年セキュリティのお約束』を策定し、第三者証明を取得しました。

第三者証明を取得する目的や効果について、株式会社クマヒラ専務取締役中山英敏様、セキュリティ企画室長木下友和様にお聞きしました。

「コーポレート・セキュリティ」を実現するための『20年セキュリティのお約束』

～公正・中立な第三者証明は他社との差別化を確実できる強力な武器～

昨今の企業リスクは、「部外者侵入」から「内部関係者による不正」へと変化し、社会的信用を失墜させる大きな要因となっています。クマヒラは、従来の「ビルセキュリティ」だけでは情報漏えいや企業統廃合を防止し得ない現状を踏まえ、賃貸・賃貸や施設に依存しない企業独自のセキュリティ構築を実現する「コーポレート・セキュリティ」を提唱しています。

「コーポレート・セキュリティ」を実現するためには不可欠な2つのコンセプトがあります。1つ目は、「様々なリスクに対応するため、柔軟なカスタマイズと一元管理を可能にする「運用自在型パッケージ」」。2つ目は、「長く使い続けられる強化・継続的システムをご提供する『20年セキュリティのお約束』」です。この2つのコンセプトを軸に、いつでも最適・最新であるための保守サービスとプロの視点からのセキュリティ運用サポートも充実させ、お客様の「コーポレート・セキュリティ」を実現します。

『20年セキュリティのお約束』は、クマヒラの企業理念である「お客様の価値を守る」ことを、「互換性のある製品の継続提供」、「最新のニーズに応える新機能の追求」、「長期視点での運用サポート体制の充実」の3本柱でお約束するものです。製品・サービスの強みを融入リットを明確に説明しても、その正当性・適切性をお客様にご理解いただくことは非常に難しいことです。自社の競争力が必ずしも訴求力を発揮できるとは限らないことを認識していましたので、『20年セキュリティのお約束』という分かりやすい言葉を使い、さらに、信頼のある第三者機関に客観的な評価をしていただければ、必ずお客様の受容度を高めることができると判断しました。第三者証明書によりクマヒラの『20年セキュリティのお約束』に対する実績や方針・実績について事が検証され、他社との差別化・強化性を確保することも可能になります。また、営業戦略的にも強力な武器になると確信しています。

想定以上の営業効果をもたらし、お客様との意思疎通を取り持つ第三者証明書

～第三者証明で新規顧客を高め、お客様の心をつかむ～

実際、第三者証明書を営業ツールとして活用した効果は歴史的なものでした。第三者証明書には、『20年セキュリティのお約束』を実現するための対策・マネジメント状況、業務運用状況、過去の実績等の観点から、クマヒラのお約束が事業であることが詳細に記述されています。また、継続して新機能を追加することや運用サポートの充実を図ることについて評価されていますので、証明書を確認されたお客様は、導入後の不確実要素に対する不安感も払拭されているようです。

第三者証明書がきっかけとなって誰もが商談では、価格競争に拘ることはありません。営業効率を向上させるという点でも想以上の効果を得ることができました。物販からソリューション販売に「売り方が変わった」ということです。第三者証明書の活用には、まだ多くの可能性があると感じています。

今後も内部・外部での活用を図りながら、「お客様の価値を守る」クマヒラの理念をご理解いただけるよう事業展開をしていきたいと考えています。

■2014年7月11日配信(Bpnet Mail)、7月15日配信(ITpro News)、7月17日配信(ITpro Security)

---PR---

◆IT格付通信 021◆詳細 <http://h.nikkeibp.co.jp/h.jsp?no=114920> (I.S.Rating)

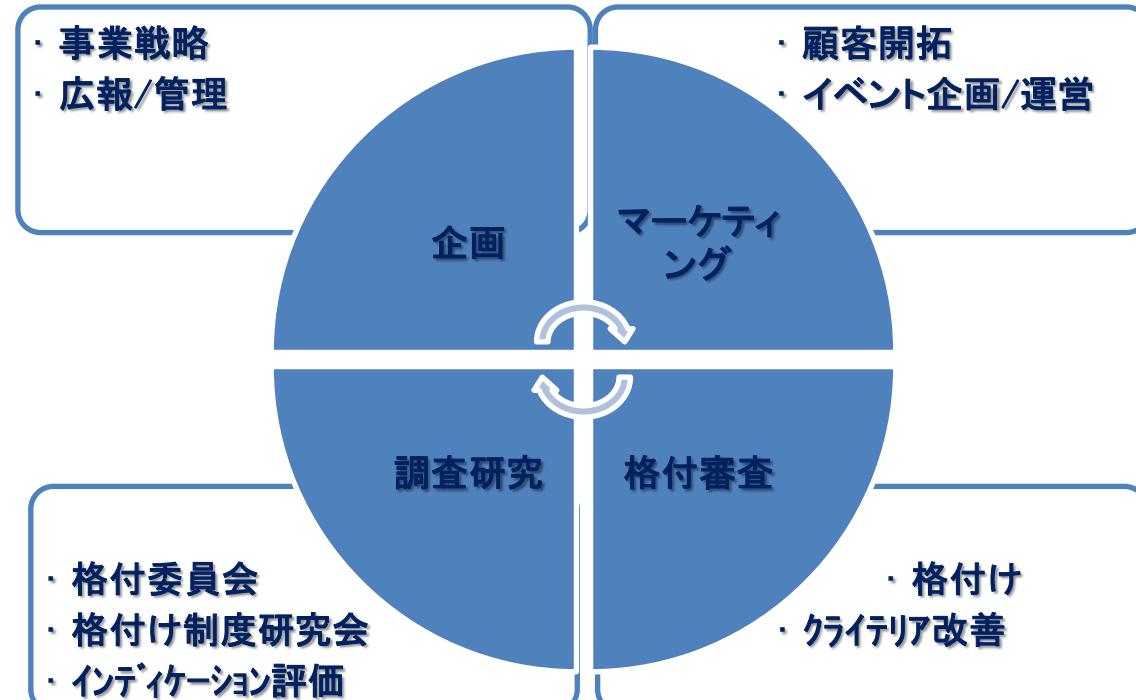
■クマヒラグループ(株式会社クマヒラ・株式会社熊平製作所)は、GGシリーズ ■

■『20年セキュリティのお約束』の正当性・適切性について第三者証明書を取得 ■

お客様のコーポレート・セキュリティ実現のための『20年セキュリティのお約束』を企業方針として発表。株式会社クマヒラ専務取締役中山英敏様インタビュー実施

第三者証明書取得の狙い、目的、効果などを弊社がインタビュー実施して、「トップインタビュー」として編集します。

「格付・第三者証明」で確かめ合う、情報の安心・安全」



お問合せ先



株式会社アイ・エス・レーティング

TEL: 03-3273-8830

E-mail: ISR@israting.com <http://www.israting.com/>

なお、当資料に記載の内容は予告なく変更することが御座いますので、予めご了承願います。